

第10回府中市学校適正規模・適正配置検討協議会の開催結果

- 1 日 時 令和5年12月19日（火） 午後1時30分～午後3時
- 2 場 所 府中駅北第2庁舎 3階会議室
- 3 出席委員 12名
岡田智委員、池澤龍三委員、小川正人委員、忍足留理子委員、
櫻井直輝委員、佐藤光宏委員、志賀定一委員、志水清隆委員、
高橋史委員、堀井聡子委員、水橋佳也子委員、吉垣親伸委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 矢ヶ崎教育部長、佐伯学務保健課長、田中教育総務課長、
角倉学校施設課長、濱田教育指導担当主幹、遠藤学校施設課長補佐、
奥学務保健課長補佐、崎井学校施設課副主幹、田中学務保健課係長、
七里学校施設課主査、坂本学務保健課職員、林学校施設課職員
- 6 傍 聴 者 1名
- 7 内 容 1. 開会
2. 第9回協議会の会議録確認について
3. 議題
 (1) 答申（案）の検討
4. その他
5. 閉会
- 8 配布資料 席次表
第9回協議会会議録
- 9 参 考 府中市立学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策について（答申）（案）
【資料】府中市立学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策につい
て（協議内容要旨）（案）
修正箇所一覧
追加意見一覧

会議録

【事務局】

皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただ今から「第10回府中市学校適正規模・適正配置検討協議会」を開催いたします。それでは、会長お願いいたします。

【会長】

皆様、こんにちは。お忙しいなかご出席くださり、ありがとうございます。それでは、ただ今から、第10回府中市学校適正規模・適正配置検討協議会協議会を開催します。

なお、本日は最後の協議会となりまして、答申としてまとめるにあたって、概ね1時間半程度を目途に進めていければと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

はじめに、事務局に確認しますが、本日の傍聴の申出の状況はいかがでしょうか。

【事務局】

本日の傍聴希望者は2名いらっしゃったのですが、今のところ1名いらっしゃっておりまして、もう1名は後ほど出席になる可能性がございます。

【会長】

わかりました。傍聴の申出がありますが、許可することに異議はありませんか。

《委員からの「異議なし」の声》

それでは、事務局は傍聴者を会議室の中に案内してください。また遅刻されている方は着き次第ご案内いただければと思います。

【会長】

次に、委員の皆様の出席状況について、本日は全員出席かと思いますが、確認のため事務局から報告をお願いします。

【事務局】

本日、委員の皆様は全員ご出席いただいております。

【会長】

ありがとうございました。

次に、前回会議録の確定をしたいと思います。既に委員の皆様には事前に送付してい

ますが、何か修正等の連絡が事務局にありましたか。

【事務局】

会長より、体裁についての修正がございました。

【会長】

ありがとうございます。

これで前回会議録を確定し、今後、事務局において市政情報公開室や市のホームページ等で公開することとします。

なお、本日、机に確定した会議録を配布しておりますが、黄色く着色している部分は、委員個人を特定する表記が含まれていますので、公開時には削除いたします。

続いて、お手元の次第に従って議事を進めますが、はじめに、事務局から資料の確認をさせていただきます。

【事務局】

それでは、確認をさせていただきます。

本日は、会議次第のほか、A4用紙1枚の鑑文、府中市立学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策について（協議内容要旨）の素案と、第9回のご意見を基にまとめた「修正箇所一覧」に加えて、委員の皆さんに事前資料送付後にいただいた「追加意見一覧」を、配布させていただいております。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。

本日の配布資料に答申の案があるようですが、現在の答申は内部協議用資料のため、傍聴人の方は協議会終了後に事務局へ返却をお願いします。

それでは、本日の議題に入ります。

議題の「答申（案）の検討」についてですが、本日は最後の会議となりますので、今までの協議内容を振り返りながら、少しずつ区切りながら答申内容について確認をまいります。

事務局から、説明をお願いします。

【事務局】

事務局より説明

【会長】

ありがとうございました。

まず鑑について、これでいいかどうか、皆様のご意見を伺いたと思います。いかがでしょうか。事務局の方も、委員の意見を考慮されて工夫されてきたと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、答申の案として了承ということでもよろしくお願いたします。続いて、協議内容要旨の方に入っていきたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局より説明

【会長】

ここで区切って、1章、2章の内容について確認したいと思います。

前回の会議では、修正等のご意見はありませんでしたが、改めていかがでしょうか。

【会長】

委員の方からは修正ございませんので、1章、2章についてはこれで決定としたいと思います。では次からは3章、4章の説明をいただければと思います。

【事務局】

事務局より説明

【会長】

ありがとうございました。詳細にご説明いただきましたが、いかがでしょうか。

委員から出た意見は、かなり慎重に反映するよう事務局も努めたと思います。いかがでしょうか。

【委員】

1章で誤植があったので確認です。2ページの令和4年度の児童・生徒数および令和10年度の児童・生徒数の数字が、図表2の児童数の数字と同じになっているのですが、どちらが間違っているのか確認いただけますでしょうか。2ページ本文の上から4行目です。児童・生徒数が600,464人であるのに対し、というところが、図表2ですと、児童数が600,464人で、生徒数が236,818人なので、合算すると83万人くらいになると思うのですが。数字が間違っているのか、表記が間違っ

いるのか、図表が間違っているのか、私の方では分からないのでご確認をお願いします。

【事務局】

今の部分に関しまして、確認させていただきまして、適切に対応させていただきます。

【会長】

これは単純なミスですね。児童数が60万で生徒数が23万と明記した方が良いですね。児童・生徒数の合計で書こうとするならば、60万と23万を足して83万とした方がいいですね。

【事務局】

委員のおっしゃる通りです。図1の、国の社人研の統計が6歳から14歳の人口になっていますので、文面はこれに合わせて児童・生徒数で統一したいと思いますので、令和4年度の児童・生徒数が60万になっていますが、60万と23万を足した数字をここに入れます。東京都のものだけ、足した数字を入れるようにしますので。一貫性がなくなってしまうので。失礼いたしました。

【会長】

ありがとうございます。

3章に戻りまして、いかがでしょうか。

よろしいですかね。前回の会議でも出していただき、そのあと委員から事務局にも意見を提出していただいたうえでの加筆修正ですが、漏れているところはありますか。

【委員】

25ページの通学シミュレーションについて、間違いではないのですが、武蔵台小の立地に統合校を設置する場合の、約1,700メートル35分は、50m/分だと34分なのですね。他のところは中学校の図表26も含めて割り切れている、四捨五入するとききれいな数字になっているのですが、ここは約35分とするか、34分としないと、説明として違和感を持つ方もいるかもしれません。ご確認をお願いします。

【事務局】

ありがとうございます。34分に変更したいと思います。

【会長】

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

また後で、全体を通して確認したいと思います。
では、3章はこれで確定ということにしたいと思います。
続いて第4章、留意点の説明をお願いします。

【事務局】

事務局より説明

【会長】

はい、ありがとうございました。

第4章の留意点については今新たに追加の箇所が説明されて、32ページの(6)の次に新しい項目を設けて(7)として、今説明があった追加意見一覧の裏側の、こういう文面で(7)に新たな項目を入れることで、次の項目の「関連計画との整合」が(7)ではなく(8)、「情勢変化への対応」が(9)、そして33ページの「適正規模・適正配置を実施するまでの期間」を(10)というふうに、番号を変えるということです。

特に「建設経費など財政面について」の文章は、今日初めてご覧になるものと思いますので、少しお時間を取りますので読んでいただいて、この内容でよいかご確認いただければと思います。1分ほど読んでいただく時間を設けたいと思います。

【事務局】

追加意見一覧の5の意見について、協議中の委員の意見といただいた意見を合わせて作成しています。

【会長】

そういう趣旨で、(7)を新たに付け加えてはどうかというのが事務局からの提案です。

それでは、新しく加えられた「(7)建設経費など財政面について」を含めて、第4章全体についてご意見はございますか。

【委員】

(7)ですが、3行目に「建設経費にかかる経費」と「経費」が重複しているので、これは、「建設にかかる経費」でいいのではないかなと思います。

あと、二段落目「いずれ統廃合などの」とあるのですが、協議内容要旨では統合で統一していた気がするので、統合でよろしいのではないかと思います。

統廃合の議論をする際に、財政的見地ではなく教育的見地だという立場で、よく教育委員会の事務局が説明をして、それに対して住民説明会の場でそんなことはないだとか、

議員さんが反発するということが昔よくみられたので、この間の中央教育審議会の答申にもコスト面への配慮ということが盛り込まれましたし、この際ちゃんと、多角的な視点で検討しているのだということをしっかり書いた方がいいのではないかと思います。

もう1点、教えていただきたいことがあるのですが、31ページの(4)、下から3行目のところで、「通学区域の見直しや学校選択制、統合を検討する際、「小・中連携」が引き続き推進されるよう、小学校の学区と中学校の学区が整合することに留意しながら」とあるのですが、小学校の学区と中学校の学区が整合するというのはイメージがわかなくて、どういう状況を指すのか教えていただきたいと思います。

【事務局】

今の学区は平成23年度から続いているのですけれども、その前は、中学校は、いくつかの小学校から、例えば1中学校で3小学校、4小学校から、ちょっとした学区の違いで行っていたところがあるのですけれども、見直しの際に、なるべく小学校の学区と中学校の学区を被せる形で学区を変更するようにしたのです。今回も、通学区域の見直しの中で、一部の学区域を見直してしまうと、本来ですと小学校と中学校の学区の線は揃っているのですが、小学校だけずれてしまうと、そこの子だけ別の中学校に行かなければならなくなる弊害が出てきますので、小学校の通学区域を一部見直すのでしたら、なるべく中学校の学区の線も見直しましょうという意味合いです。

【委員】

わかりました。1個の小学校の中から、分断されることがないように学区を見直したので、今回も同じように見直しますということですね。

【事務局】

学区域の地図をみなさんにお配りさせていただいているのですが、府中市では中学校に行くのに、1つの小学校から、なるべく1つ、2つの中学校に行くようにしています。

【委員】

市民の方には伝わるのですかね、伝わるのであれば問題ないです。

【委員】

市民全体がわかっているのかというと、そんなことはないと思います。小学校に入っているご家庭の保護者の方は、住んでいるところとその小学校で進学する中学校、というのは分かっていると思います。

例えば二小学区の天神町が六小学区に入るとすると、そのところは、今は浅間中か、一中に行きますが、六小学区は五中か、少しだけ一中に行きます。そのように、一中に分かれるというところでは、中学校としては同じになるのかなと思います。

【会長】

特にこれ以上詳しく書く必要もないのではないかと思います。また後でどうするかは検討させていただこうと思います。それほど大きな加筆修正はいらないのではないかと私は判断しますけれども。

先ほどの委員からの、「(7) 建設経費など財政面について」の部分の2つの指摘はその通りだと思いますので、ここは削除、建設にかかる経費でいいと思いますし、たしかに今確認したら、統廃合ではなく、統合とほかの文章では書いてありますのでここも統合でいいのではないかと思います。

他に、委員の方、いかがでしょうか。

【委員】

(7)の追加した文章ですが、最後の3行が長いので、同じことを言っている気がするので、「いずれ」という表現ではなくて、文脈から言えば、「適正規模・適正配置の実施に係る統合などを行う際には、財政的な検討を含めた多角的な検証等が必要になります。その点については、住民の方にも理解いただくことが重要と考えます。」のように、「多角的な検討が必要です」ということを表現された方がいいと思います。ここにあまり詳しく書きすぎても、というところですが、建物は、財政面とか、学校の質だけではなくて、学校の持っている品質、構造体力も含めて、実際は細かく検討しなくてはならないので、ここでは「財政的な面も含め」というのは、品質面も含めて検討しなくてはならないと思いますので、財政だけを検討しなければいけないというわけではありませんので、「多角的な」という表現は入れた方がいいと思います。

【会長】

ありがとうございました。もし可能であれば、後で文章を作って事務局の方に提案していただければと思います。

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

では、4章については、委員からの意見もあります通り、いくつか加筆修正した方がいいかなと思いますので、ここについては、事務局と会長の私の方で相談させていただいて、最終案を詰める作業をしていきたいと思います。

最後、35ページ以下に、資料編ということで協議会規則、委員名簿、協議会の公開、開催経過等が記載されていますが、この内容について確認していただいて、例えば名簿

でご自身のお名前が間違えているとか、何かあればご意見をいただきたいと思います。

【委員】

委員の名簿のところ、PTA連合会から私と委員は出てきているのですが、役職名は入れるのですか。役職名は母体の団体での役職でしょうか。役職名は母体のもので統一して書いた方がいいのでしょうか。

【事務局】

最初に推薦書をいただいた時の、母体の役職名を入れさせていただいています。委員と委員も役職名があればこちらに記載させていただきます。後ほど教えていただければと思います。

【委員】

そうしたら、このままでいいです。あくまでPTA連合会から出席しているだけなので。

すみません、確認だけ。

【委員】

細かいところですけども、協議会規則で、私と先生は、小学校長会からと、中学校長会から1名ずつということになっているので、36ページの表記もそれに合う形にするべきだと思います。いまは両方とも小中になっていますので。

【事務局】

選出区分と役職名ですが、前回の令和3年度の「基本的な考え方」をまとめる際も、同じように協議会の委員の名簿は調整させていただいておりまして、その際もいまご指摘いただいたように府中市立小中学校校長会、2人の先生の役職名を校長、校長と書いていたのですが、改めて見ると、事務局でも整理した方が良いところがありますので、こちらのほうは事務局の方に一任させていただき、表記をそろえた形で記載させていただければと思います。

【委員】

この後の議題かもしれないのですが、目次を見ると付帯意見とありますが、資料には付帯意見がついていません。この後協議会で付帯意見については議論するのですか。

【事務局】

付帯意見はございません。削除させていただきます。

【会長】

資料編のところもいくつか意見が出ていましたが、こちらは事務局で調整いただくことにします。

他にいかがでしょうか。全体を通して、お気づきの点がありましたらこの場を出していただければ助かります。

ございませんか。それでは、この協議内容要旨については、いくつかご指摘がありましたので、ご指摘をふまえ、会長の私の方と、事務局の方で書き直し、私の方で最終確認をさせていただき、本協議会の協議内容要旨とさせていただきたいと思えます。

本日の議題は以上となりますがよろしいでしょうか。

それでは、答申、協議内容要旨の内容は、協議会の確定ということで承認とさせていただきます。ありがとうございます。

最後、議題の4について、事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】

2点ございます。

1点目は、会長より少しお話しいただきましたが、この後の流れについてご説明いたします。今回いただいたご意見は答申内容に反映させ、会長にご確認いただきます。答申が出来ましたら、本日の会議録とともに後日送付させていただきますのでご承知おきください。また、12月25日（月）に会長と副会長に教育長へ答申書を提出させていただきます。予定としております。

そして2点目になります。本日の協議会が最終回となりますので、委員の皆様から一言ずつご感想をいただきたいと思います。

以上でございます。

【会長】

今後の予定については、事務局の方から説明があった通り、まとめた答申と協議内容について25日に会長、副会長で教育長に直接お渡ししますので、最後、締め括らせていただければと思います。

もう一点、今日の会議は、説明がありました通り、最後ですので、一人ずつからご挨拶をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

【委員】

1年半、みなさまありがとうございました、非常に難しい内容の会議で、結論を出し切れたのか、個人的な感覚ではまだ難しいと感じるのですが、これから先、必要になってくる話だと思います。というのと、何よりも学校の主役は児童・生徒であって、そことその時の保護者とその時の先生たちを置いていかない事業をこれから未来永劫していくということだけは、絶対に大事だと強く思った1年半でした。ありがとうございました。

【委員】

本当にお役に立てているのか、来るたびに学ばせていただくばかりで、申し訳ないと思いつながら座っていました。委員もおっしゃった通り、これから子供たちのより良い学びのために、絶対に避けては通れないプロセスに関われたことができるとてもありがたかったです。どうもありがとうございました。

【委員】

ありがとうございました。この検討の中に入っている武蔵台小や七中学区の中で活動しているので、とても身近に思いつながら、この会議に臨ませていただきました。どうしたらいいのか、なかなかわからないところではありますが、これからもこの中で活動していくと思いますので、どうなっていくのか見守って、協力できるところは協力していきたいながらやっていければと思います。ありがとうございました。

【委員】

1年半ありがとうございました。この会議に参加させていただいて、本当に子供が減っているのだと実感するいい経験になりました。入学する児童生徒の数を決められない公立学校の経営は本当に難しいと思います。その難しい中、子供たちの教育はいろいろな方が知恵を絞り、考えながら守られているのだなという、今まで見えなかったところが見えたこともありがたかったなと思います。私の立場としてはこの府中市の小中学校の適正配置の在り方が検討される中で、インクルーシブ教育ということも積極的に検討にいていただきたいと思っています。ありがとうございました。

【委員】

10回にわたりまして参加させていただきました。今回の問題は非常に難しい問題も含めて、感じた事を話させていただきましたが、それをまとめていただいた事務局の皆様方にも深く感謝申し上げたいと思っております。まとめるということは非常に難しいことだと思いますが、各人の意見をまとめて1つのものにするということで、この審議

会が出来上がっているのだと思います。本当に勉強になりました、ありがとうございます。

【委員】

この回に参加させていただいて本当によかったと思います。府中市の抱えている様々な問題、特に、校舎が老朽化している学校が多く、建て直しの時期に入っている、八小であるとか五小、三小など、さほど統廃合等について問題のない学校が建替えられていますけれども、これから武蔵台小であるとか、今回は話題になりませんが、まだまだこれから考えていかなければならない学校がたくさんあるわけですが、それと同時に、先ほども話がありましたよね、校舎建て替え、ここをやっぱりうまくやってほしい。特に最近建てられた一中、あるいは八小を見ますと、こういう学校でいち早くすべての子どもたちに学ばせてあげたいという思いを強く持ちます。そう考えますと、統廃合を含めまして、この問題は待たないのころに来ているのだなと思いがしておりますので、先ほどありましたけれども、第三次府中市学校教育プランに基づいて進めていっていただければなと思います。それから、先ほど委員からもうまくまとめていただいてという話がありましたけれども、私も本当に、よくこれだけまとめていただいたなと思います。特に、33ページの(9)「適正規模・適正配置を実施するまでの期間」というところで、ある文言が、非常に気になっていたのですけれども、前回出されたもので、「どの時期まで実施するのかという点は改めて議論が必要だと考えます」という記載がありまして、前回いただいたときに、まず、この会はいったい何だったのだ、という思いをしていたのですが、見事に適切な言葉に書き換えていただいて、これだったら良いなと、ぜひこれで推進していただきたいなと改めて強く思いました。ありがとうございました。

【委員】

10回の会議に参加させていただきました。どうもありがとうございました。普段は自校にすることが多いので、どうしても自分の学校を中心にものごとを考える習慣が付いています。今回このようないい機会を与えていただいて、いろいろな視点、いろいろな考え方があるということを改めて学ばせていただきました。これからも広い視点、広い視野を持ちながら、府中市の児童・生徒の為に学校経営に取り組んでまいりたいと思っておりますので、とにかく頑張ります。この度はありがとうございました。

【委員】

普段は研究という形で、学校の現場とか教育行政の現場に入っているのですが、こうやって一般の方や関係者の方と話しながら施策の議論をするというのは、久しぶりというか

初めてに近い状況でもあるので、大変勉強になりました。毎回皆さんがものすごく勉強をされて、メモをいっぱい取られていらっしゃるの、すごいと思って参加させていただいていました。これからが一番大変な時期に入っていくかと思っておりますので、うまく適正規模・適正配置が進むことを祈っております。

【委員】

この協議会で委員を務めさせていただくことになったときに、自分の役割は、府中市の子供と保護者の目線で、適正規模・適正配置、それにかかわる教育のことを自分なりにご意見させていただくことが自分の役割だと思って1年半参加させていただきました。自分なりには一生懸命勉強したつもりでしたが、つたない意見もあって、特に会長にはいつも補足をしていただきました。委員の皆様にも教えていただいて、勉強になった1年でした。ありがとうございました。適正規模・適正配置検討協議会を通していろいろ勉強する中で、公教育は過渡期に来ていて、大人たちが真剣に子供をこれからどう導いていったらいいのか考えなければならない時期にあることを感じました。インクルーシブとか、アドボカシーとかいろいろな言葉が出てきていて、盛んに使われるようになっているのですが、それが実際に教育の現場に浸透していくように、私も親として一市民として、これからも自分なりに関わっていけるように勉強していきたいと思っております。教育委員会の皆さんがまとめてくださったり、委員の皆さんもお忙しい中参加してくださって、子供たちが無事に学校に通えているのだなということを、いつも子供に話していました。あなたたちが普通に通っていることは普通じゃないのよ、本当にたくさんの方がかかわってくださって学校に通っているのだよ、しっかり勉強してねということをいつも言っていました。一介の主婦の夢物語のようなことをお話しさせていただいたかと思うのですが、大谷翔平も言っているように、楽しいこと、わくわくすることにみんな導かれていくと思うのですよ。そういうことじゃないと、これからは変わっていかないと思うので、ぜひ楽しい教育をこれからも作っていただければと思います。ありがとうございました。

【委員】

皆様お疲れさまでした。私は府中市ではない自治体で少し長く働いたことがありますので、こういった検討をするたびに思うのですが、行政はロジックにまとめ上げることが上手というか素晴らしい面がある反面、残念ながら現実にはPDCAサイクルとよく言うように、Pが中心で、Dをちょっとやっっては良くないかなということでPに戻って、ずっとP、Dを繰り返しているような気がしていました。それがいいとか悪いとかではなくて、行政側の責任ではないと思うのですが、今回検討した内容を、答申書の最後に書いてあるように、Dに持っていくチャンスはそう何回もなくて、現実的には、先ほ

ど委員も言われたように、老朽化対策が一方で動いている中で、改築とか改修とかを現実には動かすタイミングで動かないと、二度と次は訪れないくらいの感覚でないと、何回も同じ学校の改修は回ってきませんので、そこをよく考えていただければと思った次第です。

適正規模・適正配置という名称ですけれども、検討をすればするほど、皆さんの意見を聞けば聞くほど、建物というよりも教育の質をどうしようかというのを考えてきた検討会だったなと思います。考えれば考えるほど、正直、勇気がいるなと思います。それも、子供に勇気を出せというのではなくて、実は勇気を出さなければいけないのは周りの大人が子供たちと一緒に勇気を出して、次の社会を作っていく、学校教育環境を作っていくことが重要だと思ったので、大人たちもがんばらなければと思った次第です。いずれにしても、私は全くの部外者であるにもかかわらず、協議会に入れていただいて、大変充実したありがたい1年半でした。ありがとうございました。

【委員】

私は府中七小、六小、二小と小規模校と大規模校を経験させていただいて、校長として携わってきた経験から学校の立場でいろいろな話をさせていただきました。本当に貴重な時間だったなと思います。なかなか普段思っていることを伝える場がないので、この時とばかりに、学校の現状をお話しさせていただきました。地域の方たちに守られて府中の学校はあるのだなと常日頃感じている、府中市の地域の中にある学校です。その中で学校経営をさせていただいている中で、ここまで1年半、この会でたくさんの時間をかけて、本当に難しいところを議論していただいて、これが子供たちの9年間の学びと育ちに、ぜひいい形につながっていくように、無駄にならない議論の場であってほしいなど。これからが気になるころだと思っています。事務局の皆さんには、いろいろなところでまとめていただき、意見がしどろもどろになったと思うところもうまくまとめていただいたなと思います。1年半ありがとうございました。まだまだ子供たちのために、いい教育ができるように、私も力を尽くしていきたいなと思っています。ありがとうございました。

【会長】

1年3か月ですかね、長きにわたって審議をしていただきありがとうございました。また、本当にお疲れさまでした。私は府中市の住民ではないので、協議会の会長、会議の司会運営を任されたのですけれども、府中の教育行政の状況があまりよくわからないので、どうなるのかと正直最初は思ったのですが、適正規模・適正配置については、幸いにも前の協議会が基本的な考え方をまとめて示してくれていましたので、基本的には考え方に即して議論していけばいいのかなという安心感がありました。実際に議論をし

てみて、一番に安心しましたのは、事務局が丁寧な審議をするためのデータ整理と資料を作成していただき、数値的なデータについては監査法人トーマツがデータをきちっと踏まえながら協議資料を作ることができていて、基本的な考え方を踏まえつつ、具体的な方策として動かしていくためには、いろいろな要素が絡み合ってきますので、なかなか難しかったのですが、そういう点では今話したように事務局またトーマツが丁寧な議論を保証するような資料作成、データ整理をしていただきましたので、なかなか難しい議論でしたけれども、幸いにも答申という形でまとめることができたのかなと思います。もう一つは、参加された委員の方が非常に前向きで、常に建設的なご発言をしていただきましたので、司会運営の立場では非常にやりやすかったです。私は国やほかの自治体、東京都内のいろいろな自治体の審議会の会長、座長を数多くやってきていますけれども、今までの中でも今回は非常にまとめをする意味でやりやすかったです。事務局の能力の高さと参加された委員の皆様の前向きな発言、建設的な発言があつてのことだと思っております。本当にありがとうございました。多くの委員がお話しされていましたが、答申はできましたけれども、これを具体的に動かしていくために、まさにこれから、市の教育委員会は正念場だと思っております。答申の中でも、特に具体の4つの学校の提言、プラス、対応策の実行に向けた留意点がありますけれども、特に留意点に配慮していただいて、府中市として適正規模・適正配置を具体的に実現していただくことを強く期待をし、また願っています。その点については、25日、教育長さんに答申を直接お渡しする際も、協議会の皆様からの意見についてはお伝えしようと思っております。事務局の方、今後もよろしくお願いいたします。

以上、委員のみなさまからもご意見いただきましたので、これで今日の議事は終了します。

このあとは事務局の方に司会運営をお任せいたします。ありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。府中市学校適正規模・適正配置検討協議会を終了するに当たり、教育部長から、皆様にお礼のご挨拶をさせていただきます。

【教育部長】

教育部長でございます。事務局を代表しまして一言皆様にお礼を申し上げたいと思います。会長、副会長をはじめ、委員の皆様におかれましては、長期間にわたりご尽力を賜りまして、誠にありがとうございました。

昨年の9月7日の第1回から本日まで10回にわたり、大変お忙しい中、協議会の方にご出席いただきまして、また様々な貴重な意見をいただきました。本当にありがとう

ございます。改めて感謝を申し上げる次第でございます。開催当初は8回程度の開催をして、8月末に答申をとという形でスケジュールを考えていたところでございますが、協議が進むにつれて、議論が深まり、より丁寧な議論を、もう少し時間をかけてした方がいいのではないかと、会長をはじめ委員の皆様からいただいたことを受けまして、教育委員会とも相談いたしまして、答申期限を少し伸ばして、12月末までとさせていただき、2回の会議を追加して行わせていただいたところでございます。おかげをもちまして、本日、答申内容を大方まとめていただいて、最後、会長の方にご一任いただいて、詳細の部分は事務局と手直ししたものを会長にご確認いただいて、25日に酒井教育長の方に、最終的に会長・副会長の方から答申という形でいただく形になるかと思っております。その際にはまた改めましてよろしくお願ひいたします。

今後につきましては、先ほど事務局、また会長からもお話がありましたけれども、答申いただいたのちに、教育委員会としての考え方を最終的に整理してまいります。児童・生徒によりよい環境を提供できるよう、本市の学校の適正規模・適正配置の実施に向けた対応策を、しっかりと教育委員会の方で整理してまいりたいと考えております。

結びになりますけれども、委員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念させていただきまして、事務局からのご挨拶とさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

【事務局】

それでは以上をもちまして、府中市学校適正規模・適正配置検討協議会を終了させていただきます。誠にありがとうございました。

以上